

平成30年3月

保護者の皆様

高槻市立冠中学校
校長 沖田 厚志

平成29年度 学校評価について（お知らせ）

保護者の皆様には、この一年間、本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただき、教職員一同、心より感謝申し上げます。

さて、今年度の学校教育活動を振り返り、重点目標についての代表的な取り組みをまとめましたのでお知らせいたします。学校評議員の皆様のご意見や、先日配布いたしました学校教育に関するアンケート結果を踏まえ、今後も改善してまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

1. 学校教育目標・めざす子ども像

◇学校教育目標◇

知性を磨き、心身を鍛え、豊かな人格の形成に努める生徒の育成。

<めざす生徒像>

1. 自ら学び、自ら考え、豊かに表現することのできる生徒。（主体的に課題解決する力）
2. 自他を大切にし、行動できる心豊かな生徒。（人とつながる力）
3. 自分に自信を持ち、最後までやりぬこうとする生徒。（目標を達成する力）

具体的目標

- （学力）人の話を目と耳と心で聴く
- （人権）人の心とからだを傷つけない
- （自立）基本的生活習慣の確立
- （自律）力関係をなくす

2. めざす学校像

**「生徒一人ひとりの可能性を最大限に高めるとともに、未来を切り拓き、
社会でたくましく生きる力をつける学校」**

未来を切り拓く「確かな学力」、「豊かな心」「健やかな体」を持った生徒を、学校・家庭・地域が協働して育てる。

3. 今年度の重点目標、代表的な取り組みと今後に向けて

(1) 確かな学力を育成する教育の推進

○授業改善の推進

(H28年度・H29年度 高槻市教育センター委嘱 授業改善推進モデル校区)

「学ぶ意欲を高め、聴く話すを大切にした、つながる授業の推進 ～各教科等における言語活動の充実～」を主題に全教科等で研究を推進するため、校内授業研究会を実施し、これからの社会を生き抜くための思考力・判断力・表現力の育成を図りました。

また校区としても、授業改善の方向性をそろえ、校区授業研究会を校区3校それぞれで実施しました。

更に、授業への生徒の主体的参加をめざして、学習委員会を中心として授業アンケート、学習におけるクラス目標の月毎の設定や授業見学などを行いました。また、研究授業の研究協議への参加、両小学校への出前授業の参加など、学習委員を中心に生徒の授業づくりへの参画を推進しました。特に12月8日(金)の公開授業研究発表会には、市内・市外・府外から教育関係者の参加を得て、中学校では言語活動を主眼においた教科授業、小学校では、小小連携を踏まえた総合的な学習の発表を行い、本校区の授業改善に向けて有意義な研究会になりました。

- ◆学校教育アンケート結果では、生徒からは「わかりやすい楽しい授業が多い」の肯定的回答率は、86%となっています。学習意欲を育む授業改善の推進やICTの活用を今後も継続していくことが大切であると考えています。また、「教え方を工夫している」「質問しやすい」等の項目については、肯定的な回答がそれぞれ89%、79%となっています。今後も授業改善を学校全体で進め、生徒一人ひとりに向き合って、授業を創っていきたいと考えます。尚、「学校教育アンケート」につきましては、先日配布しました「学校教育に関するアンケートから見えるもの」をご参照ください。

○家庭学習習慣づくり

基礎基本の定着と家庭学習習慣の定着を図るため、今年度、全学年で宿題内容の工夫等に務めました。また、小学校から家庭学習を意識できるよう、校区において中学校の定期テスト1週間前を「クラウン ラーン ウィーク」(家庭学習強化週間)として設定しており、定着してきました。

- ◆学校教育アンケート結果では、「家庭学習をしている」の項目は、ここ数年6割台であり、今年度も63%と、本校の継続した課題であります。昨年12月に配布した「全国学力・学習状況調査の結果より」でもお伝えしましたように、まだまだ基礎学力の定着を含め、家庭学習の定着は大きな課題であり、また、一日当たりのテレビ等の視聴時間やゲームをする時間の長さは心配な結果になっています。今後も学校と家庭がしっかり連携することを大切にしていきたいと思えます。

○学習環境の整備の拡充

- ・電子黒板機能付きプロジェクターやICTを活用した授業を実施し、わかりやすい授業に努めています。
- ・放課後学習会では学習のつまずきをなくし、自学自習習慣の定着を図りました。

■全国学力・学習状況調査では、「授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っている」の項目で9割以上の生徒が肯定的回答をしており、府（62%）全国（74%）平均と比べても高い結果となっています。また、「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げることができる」の項目でも、肯定的回答は全国平均を大きく上回っています。課題としては、「友だちの前で自分の意見を発表することは得意である」は47%で、府（50%）全国（51%）と比べ低い結果であり、「話す」ことに力を入れ、発表する経験を積んでいける授業づくりに更に努めていきたいと考えます。また、家庭学習に関する項目や「自分には良いところがある」で「当てはまる」と答えた数値については、府や全国平均と比べ低い数値となっています。今後、学校では、教員の研修を一層推進し、生徒が学校生活の中で学ぶ学習や体験を通じて自信を持ち、自尊感情を育み、将来への展望とつながるよう積極的に支援していきたいと考えます。

今後も、生徒が考え伝え合う学習に取り組む中で、自己規律の育成を行い、学習意欲が高まるよう授業改善を継続するとともに、家庭学習習慣の定着に向けた取り組みを進めたいと考えています。

（2）豊かな心を育成する教育の推進

○いじめのない居心地のいい集団作りの取り組み。

- ・各種アンケートを実施し、いじめの早期発見に努めました。
- ・QUTテストを実施し、より居心地のいい学級集団づくりに取り組みました。

○温かなおもいやりの心の醸成。

- ・道徳の教科化に向けて、各学年で道徳教材を研究、実践しました。道徳授業の参観や公開道徳講演会も実施しました。また、特別活動や総合的な学習の時間、各行事、クラスミーティング・学年集会などで様々な課題について話し合い、自分たちの関係を見つめました。

○「親学習」の実施。

- ・修学旅行の行き先変更に関わってできていなかった「親学習」を地域の方を講師として、今年度2年生で実施することができました。

○「SNSに関する講演会」の実施。

- ・様々なリスクをはらむSNSに関して、今年度は保護者向けの講演会を実施しました。（SNSの講演会については隔年ごとに生徒向けと保護者向けを実施することにしていきます。）

○花ボランティア活動。

- ・地域ボランティアの方と生徒会の協働で、花植えや花壇の整備を行いました。

○年間を通して生徒・教員での「あいさつ運動」の実施。

◆学校教育アンケートでは、生徒からは「学校は生活規律や学習規律などの基本的生活習慣について、きちんと指導されている」89%、「学校では命の大切さ、社会のルールやマナーについて学ぶ機会がある」84%と、昨年度より若干ではありますが、数値は上がっています。また、「学校へ行くのが楽しい」「クラスは居心地がよく、楽しい」と思っている生徒は、ともに82%でした。今後も生徒と教員のコミュニケーション、生徒と生徒をつなげる取り組みを大切に積み重ねていきたいと考えています。

また、「間違っただことや悪いことをしたときにきちんと注意してくれる」は生徒、保護者ともに9割の肯定的回答がありました。今後も生徒の声に耳を傾け、より一層、信頼関係を構築していきたいと考えています。

- 平成29年度「冠中学校いじめ防止基本方針」（ホームページ掲載）を策定し、生徒が安心かつ安全に学習や、その他の活動に取り組むことができるように、保護者や関係機関との連携を図り、学校全体でいじめの防止と早期発見に取り組んでいます。今後とも生徒・保護者の方との信頼関係構築に全力で取り組んでまいります。

（3）中学校区連携の推進

- 校区の校園長会、連携担当者会を月1回定期的を実施し、具体的な小中一貫の取り組みを協議、実施しています。
- 「学力向上」を軸とした小中の一貫を図るため、学び方を示す「学びの道」を校区の小学校でも意識して取り組んでもらっています。
- 合同授業研究会を実施し、小中、同じ視点で授業改善に取り組んでいます。
- キャリア教育の視点を踏まえた授業づくりや小中連携した総合的な学習におけるキャリアノートの作成など、今年度校区でのキャリア教育を進めることができました。
- 冠中学校独自の授業アンケートを小学校の高学年や教員にも拡大して実施し、小中一貫における授業づくりの実態把握や授業改善に向けた具体を考えることができました。
- 「学び」「ルール」「仲間」の3部会で、学習、生徒指導、人権において連携を図っています。
- 今年度も合同授業研究会を冠中学校、冠小、南大冠小それぞれ1回ずつ、計3回実施しました。12月には、公開授業研究会を3校そろって研究授業を行う形で実施しました。小中が指導の一貫を図ることで、小学校から中学校への不必要な段差を解消し、子どもたちが生活や学びにおいてスムーズに移行できるシステムを構築してきています。今後、授業案の小中合同の研究やキャリア教育の視点を踏まえた小中連携した取り組みの研究・実施、3部会の充実など、更に小中一貫におけるシステムの内容充実を図っていきたいと考えます。

（4）信頼される学校づくり

- 学校だよりや学年だよりに加え、学校HPの「冠中ブログ」等で日常の学校の取り組みを紹介しています。
 - お祭りなど地域の行事や青少年を守る会の取り組みにPTAのスタッフさんと一緒に教員も参加しています。
 - 地域教育協議会主催のスポーツ大会やウキウキわくわくフェスティバル、クリーンキャンペーンに教員や生徒が参加し、地域の方々と協働しています。また、地域の文化祭では生徒作品を出展し、地域の方々に楽しんでいただいています。特にブラスバンド部は多くの地域行事に呼ばれ、演奏しています。
- 今年度は、昨年度に引き続き、クラブの生徒を中心に、淀川河川公園の整備事業に参加協力しました。

- 学校評議員会では、学校評議員さんから、地域のことを知る、地域のことを好きになるような取り組みを実施してほしい、小中一貫の具体的な取り組みに期待とするという意見や子どもから親にプリント類が届いていないこともあるなか、メールやブログ等も活用し、学校からの連絡を更に丁寧にしてほしいなどの意見をいただいています。
- ◆学校教育アンケートの保護者の結果では、「子どもは、毎日楽しく学校に行っている」が93%、「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」が86%、「子どもは、学校行事は楽しく、積極的に参加している」「学校は、家庭に情報提供を行っている」がともに9割を超える高い肯定率でした。しかし、「子どもは、授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」については、昨年度より肯定的回答が少し増加しているものの、67%（生徒の肯定的回答は79%）となっており、より一層生徒との更なる信頼関係を構築するとともに、保護者とのコミュニケーションに努めていきたいと考えます。
- 今後も、家庭と協力し合い、地域教育協議会をはじめ青少年を守る会等との連携をさらに図り、子どもたちの安心・安全の学校づくりを進めていきたいと考えています。本校の教育方針や教育活動については、お便りや冠中ホームページで保護者、地域に発信していきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆さまの学校の取り組みに対するご理解、ご協力のおかげで今年度も終わろうとしています。本当にありがとうございました。これからも子どもたちが安全に、安心して、充実した生活を送れる学校にしていくために教職員一同、全力を尽くす所存です。今後とも本校の教育にご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。